

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	発声のメカニズムから、母音の音源・声道の共鳴について理解できる。	教科書① 配布資料	教科書第1章「弦の振動と管の共鳴」、「フォルマント」、音声学「発音器官」、「発音のメカニズム」を復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	音響音響学(1):母音の生成のしくみ		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	5母音の弁別とフォルマント周波数の関係について理解できる。	教科書① 配布資料	教科書・第16回の配布資料を見直し、復習をすること。課題が出された場合は次回の授業までに実施すること。
		各コマにおける授業予定	音響音声学(2)母音とフォルマント		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	口音と鼻音の違いから、アンチフォルマントの現象について理解できる。	教科書① 配布資料	教科書・第17回の配布資料を見直し、復習をすること。課題が出された場合は次回の授業までに実施すること。
		各コマにおける授業予定	音響音声学(3)鼻音とアンチフォルマント		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	子音の特性とフォルマント周波数の関係について理解できる。	教科書① 配布資料	教科書・第18回の配布資料を見直し、復習をすること。課題が出された場合は次回の授業までに実施すること。
		各コマにおける授業予定	音響音声学(4)子音とフォルマント		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	子音の識別方法とフォルマント遷移の現象について理解できる。	教科書① 配布資料	教科書・第19回の配布資料を見直し、復習をすること。課題が出された場合は次回の授業までに実施すること。
		各コマにおける授業予定	音響音声学(5)フォルマント遷移		
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	音声学の基礎知識を音響学の分野に応用することができる。	教科書① 配布資料	教科書・第16～20回の配布資料を見直し、復習をすること。課題が出された場合は次回の授業までに実施すること。
		各コマにおける授業予定	音響音声学(6)総合分析 第5章まとめ		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	後期の学習内容を総合的に理解し、実践的な問題を解ける。	教科書① 配布資料	後期の内容を総合的に復習すること。練習問題の見直しをすること。
		各コマにおける授業予定	後期のまとめ:練習問題と解説		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	特に言語聴覚士にとって必要な聴覚心理学の現象を列挙し、説明できる。	教科書① 配布資料	授業後に教科書①第4章を読み、配付資料に示した内容を中心に復習すること。
		各コマにおける授業予定	音に関する尺度・単位の復習: デシベルの計算 聴覚心理学(1):聴覚心理学概論		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	音の主観的な大きさ・高さの尺度を理解し、物理量の変化に伴う心理量の変化を体系的に説明できる。	教科書② 配布資料	教科書②第1章～第3章と照らし合わせて、配付資料に示した内容を中心に復習すること。
		各コマにおける授業予定	聴覚心理学(2):音の世界のなりたち、音の性質、音の世界の認知①		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	音源定位とマスクングに関する様々な知見を理解し、説明できる。	教科書② 配布資料	教科書②第3章と照らし合わせて、配付資料で示した内容を中心に復習する。
		各コマにおける授業予定	聴覚心理学(3):音の世界の認知②		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	音楽の認知に関わる主観的な心理量とその要因について説明できる。	教科書② 配布資料	教科書②第3章、第4章と照らし合わせて、配付資料で示した内容を中心に復習する。
		各コマにおける授業予定	聴覚心理学(4):音の世界の認知③、音楽の認知		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	話しことばの認知に関わる様々な現象のうち、カテゴリー知覚について著明な実験とその結果・解釈について説明できる。	教科書② 配布資料	教科書②第5章と照らし合わせて、配付資料で示した内容を中心に復習する。
		各コマにおける授業予定	聴覚心理学(5):話しことばの認知①		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	話しことばの認知に関わるその他の様々な現象(選択的順応効果、係留効果、文脈効果など)について説明できる。	教科書② 配布資料	教科書②第5章と照らし合わせて、配付資料で示した内容を中心に復習する。
		各コマにおける授業予定	聴覚心理学(6):話しことばの認知②		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	マガーク効果を理解し、著明な実験とその結果・解釈について説明できる。	教科書② 配布資料	教科書②第6章と照らし合わせて、配付資料で示した内容を中心に復習する。
		各コマにおける授業予定	聴覚心理学(7):音の世界と知覚の融合		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚心理学における重要概念やキーワードについて説明できる。	教科書② 配布資料	「まとめプリント」を参考にして重要概念やキーワードについて復習する。
		各コマにおける授業予定	聴覚心理学(8):聴覚心理学のまとめ		